

第1回（令和7年度）和歌山一番星アワード認定商品が決定！

和歌山県内で製造される優れた県産品を厳選し、認定、推奨する制度「和歌山一番星アワード」の第1回認定商品20品を決定しました。

和歌山県産品のブランド力向上のため、厳選された認定商品を、和歌山を代表する「一番星」として、全国・世界に向けた情報発信や販路拡大の支援に取り組んでいきます。

■ 認定の概要

認定申請数117商品の中から、審査委員の審査により優れた県産品を厳選し、みかんや梅を使用した飲料・菓子類などの加工食品とパイル織産地の技術から生まれたインテリア雑貨などの産業製品、合計20品を認定しました。

認定商品：20商品（加工食品 17商品、産業製品 3商品）

審査委員特別賞 5商品（グランプリ候補）	(社名50音順)
・株式会社アーマリン近大	近大キャビア
・株式会社岩谷	紀州梅真鯛梅
・株式会社上友農園	Premium Taste uetomo
・有限会社鈴屋	デラックスケーキ
・株式会社浜田屋	胡麻豆腐

※審査委員特別賞は、認定商品の中でも訴求力があり、県産品全体のブランド力向上に寄与すると思われるものを審査委員会が選考

<参考>申請数：117商品（加工食品 88商品、産業製品 29商品）

■ 認定商品のPRとグランプリ商品選定イベントを開催

和歌山一番星アワードを広く周知し、認定20商品をPRするとともに、その中でも特に優れたグランプリ商品を選定するイベントを東京都内で開催します。

【日 時】 令和8年2月20日（金） 14：00～16：45

**【場 所】 東郷記念館 1階 「玉響」、「神楽」
(東京都渋谷区神宮前1-5-3)**

【参加者】 メディア関係者、流通業界関係者等 約100名

【概 要】

- ・認定事業者がブースを構え、展示、試食、試飲による商品PRや来場者との情報交換を行う展示交流会を実施
- ・審査委員特別賞（グランプリ候補）事業者による商品PRのプレゼンテーションを実施、来場者投票によってグランプリ商品を決定、表彰



（連絡先）

商工労働部 企業政策局 企業振興課
担当：工藤、橋戸
電話：073-441-2841

第1回（令和7年度）和歌山一番星アワード 認定商品

	事業者名	認定商品	分類	所在地	備考
1	株式会社アーマリン近大	近大キャビア	水産物加工品	白浜町	審査委員特別賞 (グランプリ候補)
2	株式会社東農園	原酒梅酒	酒類	みなべ町	
3	株式会社岩谷	紀州 梅真鯛梅	その他加工品	串本町	審査委員特別賞 (グランプリ候補)
4	株式会社上友農園	Premium Taste uetomo	飲料	有田市	審査委員特別賞 (グランプリ候補)
5	ウメダ電器	全方位スピーカーKaguya	産業製品	和歌山市	
6	太田商店	紀州南高梅ひつまぶし	水産物加工品	田辺市	
7	株式会社角長	濁り醤	調味料類	湯浅町	
8	紀州松煙	紀州墨	産業製品	田辺市	
9	株式会社笹一	紀州あせ葉寿司(鯛)	寿司・米飯類	和歌山市	
10	旬彩居酒屋膳	たなべえサンド	その他加工品	田辺市	
11	認定特定非営利活動法人ジョイ・コム	ポンポンショコラ「カカオ醤」	菓子類	和歌山市	
12	徐福寿司	さんま姿寿司	寿司・米飯類	新宮市	
13	杉村繊維工業株式会社	YETI	産業製品	橋本市	
14	有限会社鈴屋	デラックスケーキ	菓子類	田辺市	審査委員特別賞 (グランプリ候補)
15	てらうめ有限会社	そのまんま梅の床	農産物加工品	みなべ町	
16	名方製パン株式会社	和歌山コッペ みかん	その他加工品	和歌山市	
17	株式会社浜田屋	胡麻豆腐	その他加工品	高野町	審査委員特別賞 (グランプリ候補)
18	株式会社ふみこ農園	わかやまポンチ	菓子類	有田川町	
19	Restaurant Caravansarai	みんなの梅仁豆腐365	菓子類	田辺市	
20	有限会社レストランフライヤ	特選牛ハヤシビーフ	その他加工品	和歌山市	

■ 制度名称：「和歌山一番星アワード」

選ばれた県産品だけに認められる称号を「一番星」と表現し、商品や事業者の将来性・可能性も感じさせる名称とした。

■ ビジョン： 「選び抜かれた県産品を全国、そして世界へ届ける」

■ ロゴマーク



- ・一番星の「★」と「一（いち）」、その間に和歌山の「W」を組み合わせた王冠をイメージ
- ・また「W」は紀伊山地を、「一」は大地や海を表し、和歌山の豊かな自然に輝く一番星も表現
- ・カラーは、和歌山一番星アワードの明るい未来と、和歌山らしさを象徴するオレンジに設定

＜制度の概要＞

- ・対象分野：加工食品、産業製品（※生鮮物、観光資産は対象外）
- ・申請上限：1事業者あたり年度1商品まで
- ・認定件数：20商品程度/年（※5年間で100商品程度を上限に認定予定）
- ・認定期間：5年（更新制度はなし）
- ・審査：外部有識者で構成する審査委員会にて実施
- ・選定基準：県内製造、関係法令を遵守した安心・安全なものであること、消費者、取引先が共感できる背景や実績があること、原材料、製造工程、パッケージ等に独自のこだわりがあること、販路拡大等の意欲があり、成長可能性を感じられることなど

和歌山県推奨県産品審査委員会 審査委員

(五十音順)



審査委員長

あいはら りさ
粟飯原 理咲

アイランド株式会社／代表取締役社長

NTTコミュニケーションズ、リクルート社を経て現職。日本最大級のお取り寄せの情報サイト「おとりよせネット」をはじめ、「フーディストノート」「朝時間.jp」などのウェブサイトや、キッチン付きイベントスペース「外苑前アイランドスタジオ」を運営。



あおき けんじ
青木 健二

株式会社三越伊勢丹／バイヤー

伊勢丹新宿店・日本橋三越本店・銀座三越でのライフスタイル・リビング領域のバイヤーを経て、自社プライベートブランドの開発や新規SPA事業の企画・運営、店舗開発に携わる。現在は自社ギフトECサイト「MOO:D MARK by ISETAN（ムードマークバイイセタン）」で、ミレニアルやZ世代を中心とした幅広い層に向け、多彩なジャンルの商品セレクト・開発を主導。



いちだ のりこ
一田 憲子

文筆家

OLを経て、編集プロダクション勤務後、フリーライターとして独立。女性誌、単行本の執筆などを手がける。「暮らしのおへそ」「大人になったら着たい服」（主婦と生活社刊）では、企画編集から執筆までを手がける。2017年より、ひとりで取材から執筆までを手がけるウェブサイト「外の音、内の香」を主宰。



いのうえ しんいち
井上 真一

株式会社食文化／新規事業担当取締役

豊洲市場を拠点とし、卸・仲卸と共に豊洲市場の食材のECを行なうと共に、全国各地に出向き生産者の発掘を行なう。農水省・都道府県・市町村の委託で、農産物の販路拡大業務や講演など多数。



いわや たかみ
岩谷 貴美

フードプロデューサー

雑誌やテレビ・ラジオなどの食特集で企画考案が多く、光文社「女性自身」では月1ペースで、お取り寄せ食品や飲食店のカラー特集ページの企画・構成・執筆を担当。また、ホテルや食イベントのコンテストなどの審査員もつとめる。最近では、ホテルやレストランのアフタヌーンティーなどのメニュー監修も多数。



すがわら よしみ
菅原 佳己

全国ご当地スーパー協会代表理事／スーパーマーケット研究家放送作家、専業主婦、出版社勤務を経て、2012年出版のご当地スーパー本が話題に。著書や新聞連載などを通し、埋もれた日常食の発掘とご当地スーパーの魅力を伝える一方、協会を設立し、「ご当地スーパー大賞」を主催。



むらやま らむね
村山 らむね

消費ジャーナリスト・顧客視点アドバイザー

1995年個人HP「らむね的通販生活」を立ち上げ。2000年からイーライフにて企業SNSのプロデュースを担当。2004年スタイルビズ設立。以後、企業のECや顧客コミュニケーションの企画・運営を担う傍ら、経産省の委員や社外取締役を複数つとめる。情報経営イノベーション専門職大学客員教授。日経MJなど連載多数。



やぎぬま しゅうこ
柳沼 周子

株式会社エンファクトリー／バイヤー

大手小売業での婦人服売場、服飾雑貨のバイヤー・新規ブランド開発を経て、2006年よりオンラインセレクトショップ「スタイルストア」に参画。グッドデザイン賞審査委員(2021-2024年)、にいがた産業創造機構「百年物語」マーケティングアドバイザー(2021-2023年)。